

第13回 QOL-PRO 研究会学術集会

プログラム（案）

テーマ：「QOL と宗教 ～欧米で開発された尺度を利用するときに
知っておきたいこと～」

日時：2025 年 12 月 21 日（日）11:30-15:10

会場：JP タワーホール&カンファレンス

大会実行委員長：村田 達教

（クレコンメディカルアセスメント株式会社）



<総会> 司会進行 齋藤 信也（岡山大学）
10:50-11:20 (30) 研究会総会

<プログラム>

11:30 - 11:35 開会挨拶

理事長挨拶 齋藤信也

11:35 - 11:45 大会長講演

『QOL と宗教に興味を持ったきっかけ』

演者: クレコンメディカルアセスメント株式会社 村田達教

11:45 - 12:15 教育講演

座長: クレコンメディカルアセスメント株式会社 村田達教

『健康に対する価値づけの国際比較—EQ-5D のスコアリングを例に』（仮）

演者: 新潟医療福祉大学 能登真一

『健康に対する価値づけの国際比較—AP7D の進捗を中心に』（仮）

演者: 国立保健医療科学院 白岩健

12:15 - 13:30 基調講演

座長: 岡山大学 齋藤信也

『QOL と宗教～欧米で開発された尺度を利用するときに知っておきたいこと～』

演者: 大学院大学至善館特命教授 橋爪大三郎（米国からオンライン参加）

13:30 - 14:00 パネルディスカッション

司会: クレコンメディカルアセスメント株式会社 村田達教

テーマ: QOL と宗教（仮）

ディスカッサント: 東京工業大学名誉教授 橋爪大三郎、岡山大学 齋藤信也、新潟医療福祉大学 能登真一、国立保健医療科学院 白岩健

14:00 - 15:00 一般演題（発表時間 8 分 質疑 2 分）

第一部 座長: 東海大学 青木隆幸

1. 海外 HTA におけるスピリチュアル領域関連 PRO の位置づけと活用実態：日本の医療技術評価への示唆 Clever-Access Japan 株式会社 田中恵理香
2. 健康関連 QOL の観点による肥満の経済評価で重視すべき疾患の探索 東北医科薬科大学 村澤秀樹
3. 心理学的介入に伴う反応シフトの指標間差異と価値再構成の役割：抑うつ傾向者を対象としたコホート研究 福島県立医科大学医学部健康リスクコミュニケーション学講座 竹林由武

第二部 座長：川崎医科大学 平 成人

1. ステロイドの進行がん倦怠感治療における有効性の二重盲検ランダム化比較試験 (PASQoI) : QOL 評価票の検討 京都大学 宮崎貴久子
2. 臨床的に意味のある最小差で調整した平均変化量：健康関連 QOL の群間比較を目的とした新しい要約指標 東京大学 魏 天怡
3. 回復期病棟退院者における要介護認定改善に及ぼす HRQOL の影響 ～SF-8 による過去起点コホート研究～ 医療法人 珪山会 鶴飼リハビリテーション病院 佐藤英人

15:00 - 15:10 閉会挨拶